

岡山県立大学 デザイン学部
三原 鉄平

キーワード：
デザイン、ブランディング

研究内容：

本研究は2022年4月～2024年3月の2年間、「きらめき岡山創成ファンド」を活用したナカシマプロペラ株式会社との共同研究によって実施した。三原研究室所属の学生を中心に、ブランドの方向性やラベルデザインについての検討を行なった。
2022年度は3回の試験醸造を実施し、それに伴い3回のラベルデザイン提案を実施した。当初は地域性や酵母のアピールを主眼として、方向性の異なる4案を試作し、テストモニターによる各回の評価結果をもとに随時改良を行なった。



第3回試作デザイン案

2023年度は3回の試験醸造を実施し、それに伴い3回のラベルデザイン提案を実施した。第1回から第3回までのアンケート結果を踏まえ、より直感的にビールらしさを感じること、商標登録を行なったブランド名「プロペラビール」のイメージを作ることを主眼に、方向性の異なる4案を試作し、テストモニターによる各回の評価結果をもとに随時改良を行なった。



第6回試作デザイン案



岡山県立大学
OKAYAMA PREFECTURAL UNIVERSITY

住所：岡山県総社市窪木111
☎：0866-94-2045
✉：tetsu@dgn.oka-pu.ac.jp
URL：https://www.oka-pu.ac.jp

研究の目的・背景：

ナカシマプロペラ株式会社は新規事業の一つとして、地域貢献やSDGs（持続可能な開発目標）の達成を目指し、地域に根ざした瀬戸内酵母のクラフトビールの開発を進めている。
岡山県立大学保健福祉学部の田中研究室との共同研究では、ビール醸造に適した野生酵母の採取・分離を実施。可能な限り岡山県内で生産された原料を使用し、真庭市の醸造所で試験醸造を行い、テストモニターによる評価を実施した。
ラベルデザインは、岡山県立大学デザイン学部の三原研究室との共同研究により、ビールのスタイルや提供されるシーンに合わせた最適なラベルデザインを、学生と共に開発を行なった。

期待される効果・応用分野：

クラフトビールの事業化に向けてはまだ高いハードルがあるが、地域に根ざした酵母や素材の活用によって、地域活性化や雇用形態に合わせた事業の多角化への貢献が期待される。
また産学連携におけるデザイン活用の視点では、プロジェクト初期段階の方向性を探るため、学生の視点も交えた幅広いプロトタイプングを通じその検証と改善を早期に行うことで、素早い意思決定や事業リスクの回避、またリクルーティングなど、副次的な効果を期待できる。

アピールポイント：

三原研究室は、プロダクトデザインを専門領域として、小規模企業における製品開発、ケア用品のデザイン評価、デザインを活用した地域コミュニティ支援をテーマに研究を実施している。
地元企業と連携した製品開発では、国内のグッドデザイン賞受賞のみならず、プロダクトデザイン分野における国際的に権威のあるiFデザイン賞受賞などの成果を挙げている。

つながりたい分野：

- ・BtoC向け製品開発
- ・産学連携
- ・ブランド開発
- ・デザイン評価